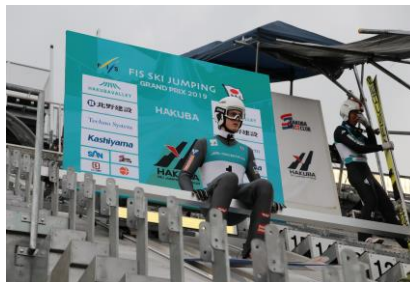


# 2019FISサマーグランプリジャンプ白馬大会 開催報告

## FIS Grand-Prix SkiJumping 2019 in Hakuba

- 開催日 令和元年8月22日(木) トライアルラウンド  
令和元年8月23日(金) 個人第5戦  
令和元年8月24日(土) 個人第6戦
- 場所 長野県北安曇郡白馬村大字北城 白馬ジャンプ競技場
- 参加要件 過去の大会での実績によるFISポイント上位者並びに日本国内選考(地元開催枠)
- 種目 ラージヒル
- 参加人数 8月22日(木) 13カ国46人  
8月24日(金) 13カ国46人  
8月25日(土) 13カ国40人
- 大会結果 (公財)長野県スキー連盟ホームページ、ジャンプコンバインドセクションページにて公開  
<http://www.ski-nagano.org/top/>
- 開催期間中の様子



白馬では19度目の開催となるFISサマーグランプリジャンプ白馬大会が開催されました。全日程をナイターゲームで行い、各国を代表する選手たちが素晴らしいジャンプを見せてくれました。特に日本の小林陵侑選手が、2戦続けて1位を獲得し大変な盛り上がりとなりました。さらに、2戦とも入賞者6名中5名を日本人選手が占め、ウインターシーズンに向け日本チーム全体が盛り上がる大会となりました。また、トップの技術を間近で見ることができ、地元の若手選手達にとって大変貴重な経験を積むことができました。

大会運営には、地元協力者など約150名とSAJ・FIS競技役員、ドイツの計器会社であるスイスタイミングに協力して行なっていただき、無事成功に終わったことに改めて感謝申し上げます。大会の周知はテレビCMやパンフレット、チラシ、ポスター、新聞広告、インターネット等で行ないました。

2018シーズンの小林陵侑選手の活躍もあり、2日間で3,500名の皆様に応援いただきました。また、今大会はスポーツ振興基金助成金を活用し実施しました。独立行政法人日本スポーツ振興センターのご理解とご支援に感謝申し上げます。

日本人選手をはじめ、今回出場された選手の皆さんの今後のご活躍を心からお祈り申し上げます。